

らぶらぶらぶ通信

第26号・2025年4月



株式会社 三 愛

本店〒807-0831 北九州市八幡西区則松 328-1 番地 (TEL) 093-692-0031



「ちょうどいい」にフォーカス！ 人と人との関係を大切に

合同会社 ハッピーエール
代表 杉澤 幸男 様

合同会社ハッピーエール様は、障がいや病気により一般企業での就労が難しい方々を対象に軽作業などを通じた生産活動を支援する「就労継続支援 B 型事業所」です。2018 年春、杉澤代表が設立し、現在は 8 名のスタッフと共に 20 名の利用者様が活動しています。

今回、設立の経緯や想い、就労継続支援事業の現状や課題、今後の事業展開についてお話を伺いました。



「販促」から「障がい者支援」の世界へ

杉澤代表は長崎県出身。大学進学を機に香川県へ移り、大手印刷会社の四国事業部で勤務。仕事の 일환として障がい者施設の販促支援を行っていた際、担当者の方に誘われたことがきっかけで障がい者支援の世界へ飛び込みました。

その後、香川県知的障害者福祉協会の事務局長として、県内会員施設と県福祉課との連携を担いました。定年後は奥様の出身地・北九州市小倉南区へ移住し、障がい者グループホームへ再就職。しかし、ご自身が目指す福祉支援の形を実現するため、2018 年にハッピーエール様を設立しました。

屋号の由来

「ひとり一人に全力でエールを」——そんな想いから生まれた「ハッピーエール」。障がいのある方が直面する困難に寄り添い、「人と人」としての関係を大切にしながら、共に過ごす時間を充実したものにしたい。杉澤代表の強い信念が、この屋号に込められています。

事業所では利用者様 20 名に対し、8 名のスタッフが支援。一般的な事業所よりも手厚い体制を整えています。毎日、必ず一人ひとりに声をかけ、利用者様との“ちょうどいい”距離感を大切に。何気ない会話の中から、その日の気分や体調を察し、必要なサポートを提供します。「昨日できなかったことが、今日はできた！」「小さな一歩が、大きな自信につながる」そんな瞬間を積み重ねながら、利用者様の生活の質を向上させ、社会復帰への道を支えていく。ハッピーエール様は、今日も全力でエールを送り続けています。



〔小倉城花見〕



〔糸島観光〕



〔柳川川下り〕

変化に負けない事業展開

ハッピーエール様の作業時間は 10 時から 15 時（送迎付き）。毎日約 15 名程の利用者様が通い、活気あふれる環境の中で作業に取り組んでいます。

業務の中心は企業や個人からの依頼による軽作業。時には工場やマンション・事務所・個人宅に出向き、草刈りや清掃など実践的な仕事にも挑戦しています。利用者様一人ひとりの得意・不得意を見極め、スタッフがきめ細やかなサポートを行い、それぞれの能力を最大限に発揮していただくことを大切にしています。

また、楽しく長く続けられる環境づくりにも力を入れています。事業所内の厨房で手作りランチを提供するほか、食事会・研修旅行・スポーツ観戦といったレクリエーションを定期的に行い、利用者様同士の交流を深めています。

一方、就労継続支援 B 型事業所を取り巻く環境は厳しさを増しています。3 年ごとの報酬改定が事業運営に影響を及ぼし、個々の事業内容の特色を明確に打ち出す必要に迫られています。ハッピーエール様では、パソコンを使った入力作業、施設外での作業力強化など、差別化と競争力を高める動きが加速しています。

行政支援を受けながら、持続可能な運営が求められる中、杉澤代表はこう語ります。「今後は事業所同士が連携し、障がい者の方々の能力をより活かせる環境を整えていきたい。」

取材を終えて

ハッピーエール様の大きな特徴の一つは、事業所内に厨房を備え、調理専門スタッフが利用者様へ日々温かいランチを提供していることです。この環境をさらに有効活用するため、地域の方々へのお弁当の提供やさらには地域イベント向けのお弁当、企業様へのお弁当販売などの受注も開始され、支援の枠を超え地域に根ざした事業へと広がっています。

これからも企業内就労実習や研修を活性化し、地域の皆様と共に大きく成長する可能性を期待し、ハッピーエール様のこれからの取り組みにも注目していきたいと思えます。

ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。〔取材：本店 吉崎 英樹〕



ハッピーエール様 日替わり味菜弁当（例）
500 円（税込）

合同会社 ハッピーエール

〔就労継続支援 B 型事業所〕

福岡県北九州市八幡西区本城 1 丁目 24-20
リアルシティ本城マンション 1F

◆お問い合わせ（弁当ご注文）
TEL：093-695-0112

◆利用対象

18 歳以上の方で、就労移行支援事業を利用したが一般企業等の雇用につけつかない方や、一定年齢に達している方などであり、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識及び能力の向上や維持が期待される方。

◆定員 20 名 ※新規利用者募集中

本店
吉崎 英樹
(よしざき ひでき)
営業

やっと重いOMOI腰を上げました！

コロナ禍の前まではウォーキング&ジョギングをしていたのに、「コロナが落ち着いたら運動しよう！」と思っていたら、気づけば時は流れ、まるで成長期のごとく体が…横に大きくなっていました。



そんな中、久しぶりにお会いしたお客さまから「おっ！なんか大きくなったね！」「貫禄ついたね！」と温かいコメントをいただき、どうりで最近、服が悲鳴を上げていたわけです。スーツのボタンが「無理です！もう耐えられませんか！」と弾け飛ぶ前に、ついに決心しました。

夜な夜な、3月から自宅近くの北九州市立総合体育館の横にある金毘羅池の外周約1キロを、ウォーキング&ジョギング5周を開始！
きついけれど、夜風を感じながら走るのは気持ちがいい…はずが、終盤はゼーハーして景色どころじゃありません。でも、桜やツツジが咲く頃の美しさは格別なので「花見ジョギング」という新ジャンルを楽しんでいます。

次回お会いする時には、「え！？シュツとしたね！」と言われる予定です！

自分自身の健康のためにも、無理せず楽しく長く続けていきます！



本店
占部 健太郎
(うらべ けんたろう)
営業

Newランドマーク誕生！

嬉しいお知らせです！なんと、「福岡県済生会八幡総合病院」が、北九州市八幡東区から昨年12月に移転してきました！



この病院は、明治天皇が創設した「済生会」の一員として、昭和2年に「八幡診療所」として誕生。実に97年もの歴史を持ち、がん・脳血管疾患・心疾患といった三大疾病をはじめ、急性期の患者さんの早期安定化に向けて、高度な医療を提供している頼れる医療機関です。

かつて、本店はのどかな田園地帯の中にポツンとたたずんでいましたが、これからは「済生会八幡総合病院」を目印にお越しいただけます♪

特にご用事がなくても大歓迎！私の大好きな、あったか〜いお茶を用意してお待ちしておりますので、お近くにお越しの際は、ペットと一緒にお気軽にお立ち寄りください。狭いですが、天然芝のドックランも完備しています。皆さまとお会いできるのを楽しみにしております！

大分支店
町田 直子
(まちだ なおこ)
営業統括部長

小池原 子ども神楽！

先日、小池原子ども神楽の練習の現場にお邪魔しました。私は子供の頃から和太鼓やお神楽が大好きで機会があれば足を止め引き込まれるように見入ってしまうほどの。



小池原神楽自体は今年80周年を迎えられ、25年前から子ども神楽をはじめられたと伺いました。活動としては、様々な施設に訪問したり、お祭りや季節や地域のイベントにボランティアで出場して皆さんに喜んでいただいているようです。

今回は私がかかわるイベントの余興に出場をお願いしていたのでその打合せのための訪問でした。本番では小さな子供が衣装を着てダイナミックに踊る様子にきっと皆さんに感動していただけたと思っています。



メンバーの中には、親子でお神楽をされている方もおられ、控室で練習を見守るご両親の様子はまるで家族の集まりのような和気あいあいとした雰囲気と一体感を感じました。小さい頃から神楽を続けてきた高校生が、幼稚園児くらいの子の指導をしている様子も、本当にほほえましい光景です。これからも末永く日本の文化や伝統を守っていただきたいと心から感じました。

大分支店
河野 久美
(かわの くみ)
大分支店長

KORVAPUUSTI (コルヴァプースティ) に挑戦！

最近、YouTubeでフィンランドを旅する動画を見たのをきっかけに、本場のシナモンロールを無性に食べてみたくなりました。フィンランドのシナモンロールは、定番の形が「コルヴァプースティ (平手打ちされた耳)」と呼ばれ、少し潰れたような独特のフォルムをしています。特徴として、カルダモンが入っており、アメリカのシナモンロールに比べて甘さが控えめなのだそうです。



そこで、映画『かもめ食堂』のレシピを参考に、息子と一緒に第1弾を試作！生地を長方形に薄く伸ばし、シナモンやバター・砂糖を混ぜたフィリングを巻き込み、くるくると丸めて棒状にした後、切り分けて成型しますが、よくみかけるアメリカ風シナモンロールの渦巻き型は切るだけなので簡単ですが、「コルヴァプースティ」にするにはハの字のように台形に切り分け、短い辺の部分を指やお箸でギュッと潰して平べったくします。

焼きあがった結果…見た目は50点？なかなか思うような形にはなりませんでした。味は…家族からは「美味しいけど甘さが足りない」と言われました(苦笑)。実際は甘さ控えめと言いつつお砂糖もバターもたっぷり使っているんですけどね(汗)。



いつか本場フィンランドで、本物のコルヴァプースティを味わってみたいです！それまでは家で作って楽しめます。ただハイカロリーなので食べ過ぎには注意です(笑)。

暮らしの 安心

Ending Note

☆☆☆ エンディングノートを作成してみませんか？ ☆☆☆

「自分のために 家族のために 残りの人生を どう生きる？」

エンディングノートは、あなたが大切にしたいこと、実現したい夢、そして愛する人に伝えたい想いを綴るものです。

「もしも」の時が訪れて後悔しないように、また「まさか」自分に何かあったときに、ご家族が迷うことなく判断し、手続きを進められるように…。さらに、日々の備忘録として、これまでの人生を振り返る時間として、そして、これからの人生をより豊かに、前向きに生きるためのきっかけにもなります。

「これからの人生をより明るく 前向きに過ごすために！」

あなただけの物語を綴ってみませんか？



【エンディングノート記入例】

私の基本情報・資産



- 健康管理に関すること
- 預貯金・口座引落のこと
- 有価証券とその他の金融商品
- デジタル遺産（ネット銀行・SNS）
- クレジットカード・電子マネー
- 不動産・年金・借入金・ローン
- 加入している保険

私の意思・これから



- これからやってみたいこと
- 介護のこと
- 病気の告知・延命治療のこと
- 葬儀のこと
- お別れの準備は自分らしく
- 納骨方法・お墓のこと
- ペットのこと

私の履歴



- 学歴と職歴
- 家族一覧（家族関係図）
- 親族一覧
- 友人・知人一覧
- その他の連絡先一覧
- 大切な日・思い出の場所
- 命日一覧など

※エンディングノートに決まった形式はありませんが、デジタルツールや無料のテンプレート、市販のノートなどを活用すると、イメージが湧きやすいかと思います。

なお、弊社にもエンディングノートがございますので、ご希望の方は担当者までお申し付けください。



Last Love Letter（ラストラブレター）

「ラストラブレター」という言葉をご存じでしょうか？

生命保険が誕生した国・イギリスでは、生命保険を別名“ラストラブレター”と呼ぶことがあるそうです。亡くなった方が最愛の家族に宛てた、最後のプレゼントという意味が込められているのでしょうか…。

自分がいなくなった後も、残された家族の幸せを願い、生命保険に加入する…。

その想いは、とても素敵ですね。

愛はお金で買えませんが、お金に愛を込めることはできます！



あれから20年！ 福岡県西方沖地震を覚えていますか？

今から20年前の平成17年（2005年）3月20日（日）、小春日和の午前10時53分頃、福岡県北西沖を震源とする地震が発生し、震度6弱を観測しました。

当時を思い返すと、私（占部雅志）は野球場のダグアウトにいました。突然、バックネットのポールが不規則に大きく波打ち、周囲は静まり返りました。今まで経験したことのない揺れに動揺した記憶が、走馬灯のようによみがえります。その後、携帯電話に続々と地震被害の報告が入りました。特に福岡市近郊からの報告が多く、急遽、社員にも緊急出勤を要請し対応にあたりましたが、交通網は麻痺し、幹線道路は大渋滞。そこで災害用バイクを使い、被害報告のあった地域や取引先の現地調査へ向かいました。現場では、ブロック塀や家屋の倒壊、商品の落下・破損など目を疑うような光景が広がっていました。「まさか」が現実となった瞬間でした。



陥没・地割れした中央ふ頭



玄海島の住宅被害



避難所の九電記念体育館

※写真：福岡市ホームページ 福岡県西方沖地震20年 特別サイトより

こうした「まさか」に備えるために、防災・減災の鍵となるのは、「どのような脅威から、何を守るのか」を具体的にイメージすることです。そのためにも、起こりうる災害のリスクを正しく理解することが重要です。

事前にできる備えとして、以下の対策が挙げられます。

- ◆家具の配置を工夫し、転倒・落下を防ぐ
- ◆食料・飲料の備蓄、非常用持ち出しバッグの準備
- ◆安否確認の方法を家族・職場で共有
- ◆避難場所・避難経路の確認
- ◆企業においては、BCP（事業継続力強化計画）の作成・運用

また、住宅や店舗の再建、生活の立て直しには多額の費用がかかります。そのため、火災保険や地震保険の契約内容を事前に確認し、経済的な不安を軽減しておくことも大切です。ぜひ、この機会にご家族や職場で話し合い、防災・減災、そして再建に向けた取り組みを進めてみてはいかがでしょうか。

弊社では作成したBCP（事業継続力強化計画）に基づいて継続的に取り組んでおります。その計画の一環として、いつ自然災害が発生しても迅速に対応できるよう、昨年「災害対策用オートバイ」を増車するとともに運転技術の訓練を繰り返し行い、「万が一に備えた」サポート体制の強化にも努めております。



この地震による保険金の支払い総額は約170億円でしたが、当時の加入率はわずか16%。大半の方が自己資金で復旧されたこととなります。保険代理業として、加入率の低さを改めて考えさせられる出来事でした。

4月は出会いと別れの季節、新生活の始まりです。生活環境に変化があった方も、そうでない方も、いかがお過ごしでしょうか。いつも「らぶらぶらぶ通信」をご覧ください、ありがとうございます。

3月に東京で開催されたメジャーリーガーたちによる迫力満点のプレーは素晴らしいものでした。大谷選手の活躍はもちろんのこと、地元・北九州出身の今永選手の奮闘もうれしい限りです。これからも両選手がメジャーリーグで輝き、日本にたくさんの明るい話題を届けてくれることを願っています。

「2025年問題」という言葉を耳にしたことはありますか？ これは、団塊世代が75歳以上となり、日本社会が迎える超高齢化（5人に1人が75歳以上）の中で生じるさまざまな課題を指します。例えば、少子高齢化による人口減少、生産性の低下、介護・社会サービスの質の低下などが懸念されています。日本経済の行く先がどうなるかは不透明ですが、自助努力が不可欠であることは間違いありません。将来に向けた準備を始めるのに、遅すぎるということはないのです。弊社では、ファイナンシャルプランナーが社会保障、NISA・iDeCo、保険など幅広い分野において情報提供を行っています。ぜひお気軽にご相談ください。

さて、今号では「あれから20年！ 福岡県西方沖地震」と「Ending Note」についてご紹介しております。少しでも皆さまの心に響くものがあれば幸いです。私たち社員一同、皆さまに喜んでいただくには何ができるかを常に考えて、日々精進してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

このお便りをお読みのころには、ゴールデンウィークが目前に迫っていることでしょうか。楽しい計画を立てられている方も多いのではないのでしょうか？ どうぞ思い出に残る素敵なゴールデンウィークをお過ごしください。

代表取締役 望月 隼人



女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」を取得しました！

この度、株式会社三愛は、女性の活躍推進に関する取り組みが評価され「えるぼし（認定段階3）」を取得しました（認定日：令和7年3月27日）。

「えるぼし認定」とは？

「えるぼし認定」は、女性の職業生活における活躍推進に関する優良企業を認定する制度です。「採用」「継続就業」「労働時間・働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の5つの評価項目があり、当社はすべての基準を満たし、最高位である「認定段階3」を取得しました。今後も、すべての従業員が能力を最大限に発揮し、仕事と私生活を両立できる働きやすい職場環境の整備に努めてまいります。

Sanai PRESENT

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選でプレゼント！

※2025年5月15日までに右記のQRコードからご回答ください。

※厳正な抽選のうえ当選者を決定し、30名様に景品が当たります。お楽しみに！！

尚、第26号からはSDGsの観点からアンケート用紙でのご回答は廃止とさせていただきます。

こちらから
ご応募
ください

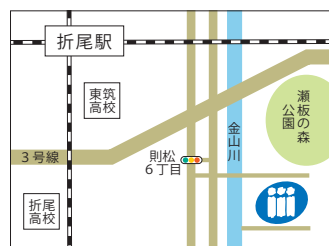


ミニボトル 200ml 黒 or 白



【本店】

〒807-0831 福岡県北九州市八幡西区則松 328-1番地
TEL (093) 692-0031 FAX (093) 692-0027
E-mail: office@sanaijp.com



【大分支店】

〒870-0026 大分県大分市金池町 5-8-12 東洋第一ビル 1F
TEL (097) 535-0560 FAX (097) 535-0562
E-mail: oita@sanaijp.com

